

横浜市学力学習状況調査結果について（R7年度5月実施）

横浜市立奈良中学校 学習指導部

今年度の結果は、3年生(中2までの学習範囲)の学力は市平均をやや上回り、2年生(中1までの学習範囲)は市平均程度を、1年生(小学校の学習範囲)は市平均を上回っていた。

3年平均正答率(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
奈良中	63.1	56.9	59.7	50.5	69.9
横浜市	60.9	54.0	58.2	47.9	67.8

2年平均正答率(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
奈良中	67.7	53.5	54.0	51.3	69.0
横浜市	67.7	55.7	55.6	51.3	68.3

1年平均正答率(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
奈良中	64.4	63.1	63.0	61.1	82.0
横浜市	63.1	60.3	63.2	57.5	81.9

【各教科から】

国語：3学年とも「情報活用」の単元が市平均を上回っている。一方、「漢字」の設問で市の平均を下回っている。言語事項の知識を確実に定着させるためにも、様々な作品を丁寧に読み、現在行っている漢字の自己学習を継続し、子どもたちの語彙が豊かになることに努めたい。

社会：1、3年とも「事象や人々の相互理解」の単元が市平均を上回っている。2学年は、分野が1年次とは違い、市平均を下回ってはいるが、が昨年度よりも少しずつ学習の成果が上がっている。今後も知識の定着を図りつつ、身に付いた知識をもとに考える力を伸ばすことにつながる授業展開を実施していきたい。

数学：3年は「統計」の単元が市平均を大きく上回った。2年も「統計」単元が市平均を上回り昨年から伸びてきている。1年は、「平面図形」の単元が市平均を上回った。今後も基礎基本の定着を意識し、わかりやすい授業の実践に努めたい。

理科：全学年とも「物質」と「生命」の単元が市平均を上回っている。実験に関する設問の回答も市平均を越えていた。今後も身の回りのことに関連付けような授業展開を行い、実験を通して、基本的な技能を身につけるような授業に努めていきたい。

英語：2、3年は「書くこと」「聞くこと」の設問が前年度から上がってきている。1年は「聞くこと」の設問が市の平均を上回った。一方、「読むこと」の単元で市の平均は超えているが正答率が低い設問があった。読解力向上のためにも、今後も基礎学力の強化を目指した授業展開を行っていきたい。